

COPDチラシデザイン新旧対照

旧

新


表

裏

表

裏

その咳・息切れ もしかしたら
シー オー ビー ディー
COPD
かもしれません



千葉くん

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は
タバコを原因とする肺の病気です

禁煙しましょう!

COPDとは...

- タバコの煙を主とする有害物質が長期に気道や肺に触れることによって起きる炎症性の疾患
- ゆっくり呼吸障害が進行する
- 心血管疾患、消化器疾患、糖尿病、骨粗鬆症、うつなどの併存疾患が多い
- COPDの進行を遅らせることは、これらの疾患の悪化を防ぐ可能性も期待される

COPDの症状

長期間続く咳や痰
動作時の息切れ
重症化
喫煙を継続
呼吸器科への受診が必要となる場合も
電話の案内がたまりの状態で

COPDとタバコの関係

- COPD患者の9割が喫煙者
- 高齢の喫煙者の約50%にCOPDが認められている
- 喫煙者は非喫煙者に比べてCOPDによる死亡率が約10倍高い
- 受動喫煙もCOPDの危険因子のひとつ

POINT!

病状初期は自覚症状に乏しいケースが多いこと、咳や息切れ等の症状を風邪や年齢のせいと勘違いしやすいことから、多くの患者が受診に至っていない可能性が示唆されています。

喫煙習慣がある方(過去の喫煙習慣を含む)は定期的に、
長期間続く咳や痰・動作時の息切れ等が気になる方は
早めに病院で検査を受けましょう。

COPD 病院 千葉県

※実際にCOPDの検査に該当しているかを病院にお問い合わせの上、受診してください。
※本チラシは、公益財団法人健康づくり推進協議会(COPD)より提供されています。
©2024 公益財団法人健康づくり推進協議会(COPD)

その咳や息切れ **COPD** かも?



COPD
(慢性閉塞性肺疾患)とは...

こんな症状
放置していると...

重症化!

タバコを原因とする肺の病気です!
タバコの煙を主とする有害物質が長期に気道や肺に触れることによって起きる炎症性の疾患です。
ゆっくりと呼吸障害が進行し、心疾患や消化器疾患、糖尿病や骨粗鬆症、うつといった併存疾患が多いです。
COPDの進行を遅らせることは、これらの疾患の悪化を防ぐ可能性も期待されます!

COPDとタバコ

- COPD患者の9割が喫煙者です。
- 高齢の喫煙者の約50%にCOPDが認められています。
- 喫煙者は非喫煙者に比べてCOPDによる死亡率が約10倍高くなります。
- 受動喫煙もCOPDの危険因子のひとつです。

千葉県健康福祉部健康づくり支援課
健康ちば地域・職域連携推進協議会(案)

千葉県のたばこ対策についてはこちら

千葉県ホームページ

COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS™)

この質問票は、ご自身、ご自身の呼吸、またご自身ができることについてお伺いするものです。記入にあたり、以下の質問に対し、ご自身に最もあてはまる回答のボックス (a) に☑をつけてください。

- 過去4週間に、どのくらい頻繁に息切れを感じましたか?
まったく感じなかった □₀ 数回感じた □₁ ときどき感じた □₁ ほとんどいつも感じた □₂ ずっと感じた □₂
- 咳をしたとき、粘液や痰などが出たことが、これまでにありますか?
一度もない □₀ たまに風邪や他の感染症にかかったときだけ □₁ 1か月のうち、数日 □₁ 1週間のうち、ほとんど毎日 □₁ 毎日 □₂
- 過去12か月のご自身に最もあてはまる回答を選んでください。
呼吸に問題があるため、以前に比べて活動しなくなりました。
まったくそう思わない □₀ そう思わない □₁ 何ともいえない □₁ そう思う □₁ とてもそう思う □₂
- これまでの人生で、たばこを少なくとも100本は吸いましたか?
いいえ □₀ はい □₁ わからない □₀
- 年齢はおいくつですか?
35~49歳 □₀ 50~59歳 □₁ 60~69歳 □₂ 70歳以上 □₂

得点の計算：各質問に対するご自身の回答の横にある数字を、以下の欄に記入してください。数字を見て合計点を算出してください。合計点は0から10までの間です。

T1の得点 + T2の得点 + T3の得点 + T4の得点 + T5の得点 = 合計点

合計点が4点以上の場合は、あなたの呼吸の問題は慢性閉塞性肺疾患 (COPD) が原因かもしれません。COPDは、しばしば慢性気管支炎や肺気腫とも呼ばれ、肺の構造とともにゆっくりと悪化する深刻な肺の病気です。COPDは予防も治療も難しい病気です。診断により治療をコントロールすることが重要です。記入し終えた質問票を医師に渡してください。合計点が低いほどCOPDにかかっている可能性が高くなります。医師はスパイロメトリーと呼ばれる重要な検査を行います。あなたの呼吸の問題を調べてくれます。医師の診断を受けるまで、咳や息切れがひどい場合は、早めに病院で検査を受けてください。医師は、あなたの呼吸の問題がどのタイプのものか調べてくれます。

COPD Population Science™ copyright 2012 QualityMetric Incorporated. All Rights Reserved. Japan (Japanese) version: COPD Population Science™ is a trademark of QualityMetric Incorporated. 一般社団法人GOLD日本委員会 提供

症状初期は自覚症状に乏しいケースが多いことや、咳や息切れ等の症状を風邪や年齢のせいと勘違いしやすいことから、多くの患者が受診に至っていない可能性が示唆されています。
喫煙習慣がある方(過去の喫煙習慣を含む)は定期的に長期間続く咳や痰、動作時の息切れ等が気になる方は、早めに病院で検査を受けましょう!

千葉県

